



令和 5 年 3 月 3 1 日
九州地方整備局
唐津港湾事務所

将来、唐津港はどんな港になるの？ 唐津港の中長期ビジョンをとりまとめました

○近年、港を取り巻く社会経済情勢は大きく変化してきており、将来的な唐津港の在り方についての検討が必要となっています。

○九州地方整備局では、概ね 20～30 年先を見据えた際に必要と想定される港湾の機能・役割を踏まえ、「唐津港の中長期ビジョン」として今後の方針・施策等を取りまとめました。

○唐津港は、佐賀県の北部に位置し、周辺の島々により静穏な水域をもたらされた天然の良港であり、外内貿ふ頭、工業用地、海洋性レクリエーション施設等を有し、コンパクトな多機能港湾として使用されています。近年、唐津港を取り巻く情勢は大きく変化しており、船舶の大型化に対応した岸壁の整備やふ頭用地の拡張、九州電力唐津発電所跡地の活用といった課題が将来顕在化していく可能性が高まっています。

○こうした背景を踏まえ、九州地方整備局では、概ね 20～30 年先を見据えた際に必要と想定される港湾の機能・役割を踏まえ、今後の方針・施策等を整理することを目的として、「唐津港の中長期ビジョンに関する検討会」を設置し、令和 4 年 1 1 月より唐津港の課題やその対応策について、港湾利用者や行政関係者との議論を進めてきました。

○今般、計 3 回にわたる検討会での議論を踏まえ、唐津港における将来的な課題に対応するための方針・施策等について「唐津港の中長期ビジョン」としてとりまとめを行いました。

【添付資料】

- ・別紙 1 検討会構成員
- ・別紙 2 唐津港の中長期ビジョン

【問い合わせ先】

国土交通省 九州地方整備局 唐津港湾備事務所
沿岸防災対策官 西坂（にしざか）

TEL : 0955-72-3109

第3回 唐津港の中長期ビジョンに関する検討会

構成員等

(敬称略、順不同)

(構成員)

【企業・団体】

ENEOS グローブガスターミナル株式会社

大坪産業株式会社

唐津港運輸株式会社

唐津港水産振興協会

唐津商工会議所

九州郵船株式会社

合同会社唐津バイオマスエナジー

松浦通運株式会社

【行政】

佐賀県 唐津土木事務所 港湾課

唐津市 都市整備部 みなと振興課

九州地方整備局 唐津港湾事務所

(事務局)

九州地方整備局 唐津港湾事務所

港湾空港部 港湾計画課

1. はじめに

九州地方整備局では、唐津港において、概ね20～30年先を見据え、今後必要と想定される港湾の機能・役割に対応するための方針・施策等を整理することを目的として、港湾利用者や行政関係者等による議論を踏まえ「唐津港の中長期ビジョン」をとりまとめた。（今回の中長期ビジョンにおいて、現況、課題、役割と取組の方向性、取組方策、広域的なゾーニングまでの整理を行った。）

2. 現況

九州北西部に位置する唐津港は、東アジアに近接し、西九州各都市とのアクセスの良さといった地理的優位性を有し、背後に立地する企業や長崎県壱岐との離島航路の物流拠点として重要な役割を果たしている。

<地域の現況>

- 唐津市の人口は減少傾向で、老年人口の割合が増加している。
- 就業人口も減少傾向で第3次産業の割合が高い。
（「製造業」、「保険衛生・社会事業」の就業人口が多く、次いで「卸売・小売業」、「不動産業」）
- 唐津港周辺の主な立地企業は、ENEOSグローブガスターミナル株式会社、大坪産業株式会社、唐津港運輸株式会社、九州郵船株式会社、松浦通運株式会社、太平洋セメント株式会社など。
- ニタ子地区にある火力発電所跡地は、面積が約20haと広大であり、多様な形で活用されることが期待されている。

<港湾取扱貨物>

- 総取扱貨物量：264万トン（2021）
- 外貿：輸出では、金属くず、砂利・砂、鋼材の取り扱いが多く、輸入では、LPGが多い。
- 内貿：移入では、唐津～壱岐を結ぶフェリー貨物が多く、移入では、砂利・砂が多い。
- 今後、バイオマス関連企業の進出が予定されており、大型船によるバイオマス燃料の取扱が予定されている。

3. 課題

（1）物流・産業に関する課題

- 将来的な人口減少、労働者不足
- 港湾取扱貨物量の増加・新規貨物受入に伴うヤード不足
- 船舶大型化への対応
- 企業誘致・産業振興のための用地の確保
- 耐震強化岸壁の利用促進のための取組（東港地区）

（2）人流・賑わいに関する課題

- 定期旅客航路の利用促進（唐津・壱岐航路）
- 海辺における賑わいづくり
- クルーズ船の誘致

（3）環境・エネルギーに関する課題

- エネルギー転換等の脱炭素化に向けた港湾臨海部のあり方の検討
- 再生可能エネルギー産業を支える港湾施設のあり方の検討

（4）防災・減災に関する課題

- 予防保全型の維持管理の取組
- 港湾機能維持のための施設の点検・更新・メンテナンスの取組
- 耐震強化岸壁の機能確保（航路・泊地の増深）
- 海上保安部施設の充実と強化

4. 目標と取組の方向性

目標	取組の方向性
A.物流需要の変化に対応する唐津港	①船舶の大型化やヤード不足に対応して港湾機能の高度化を図る。
B.地域経済の活性化に貢献する唐津港	②臨海部空間を活用した企業誘致などを通じて唐津港の振興を図る。
C.まちの賑わいづくりに貢献する唐津港	③唐津港の魅力を高める賑わい空間の形成を図る。
D.脱炭素社会に貢献する唐津港	④クルーズ船の受入環境の改善、体制強化により誘客の強化を図る。
E.地域防災力の向上に貢献する唐津港	⑤官民の連携によるカーボンニュートラルポートの形成を推進する。
	⑥老朽化により施設利用に支障が生じないよう維持管理の強化を図る。
	⑦物資の緊急輸送に対応する耐震強化岸壁の機能強化を図る。
	⑧沿岸部の警備強化に対応する保安施設の機能強化を図る。

5. 取組方策・広域的なゾーニング

